

令和2年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：( 国語 ) 科目：( 国語総合 ) 対象：( 第1学年1組～5組 )

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が感じていること、思っていること、考えていることを的確に判断できるようになる。</li> <li>・基本的な学習姿勢を身につけ、注意して聞く、書く力をつける。</li> <li>・互いに伝え合うコミュニケーション力をつける。</li> <li>・知識を得、心を豊かにし、考える力を伸ばす。</li> <li>・言葉の重みを理解し、言葉を大切にする。</li> <li>・漢字検定4・5級の漢字が日常生活の中で使えるようになる。</li> </ul>
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1.基本的な漢字を書くことができない。 2.小学校または中学校において、望ましい学習態度を身に付けられていない。 ※本校では学力検査による入試を実施していないため、年度当初の授業中の生徒観察から判断した。	1.週1回、漢字テストを実施。テスト結果やノート提出で生徒の漢字能力を適宜把握し、必要に応じて課題を課し常用漢字を書けるようにする。 2.授業の際に持ち物のチェックを行い、授業に向かう基本的な姿勢を身に付けさせる。	1.教科会の開催を増やし、生徒の現状と対応について協議を重ねていく。 2.年間の授業計画を作成したうえで、授業担当者で随時授業内容や進度の打ち合わせを行い、統一的な指導を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			